

平均正答率と生活習慣との関係

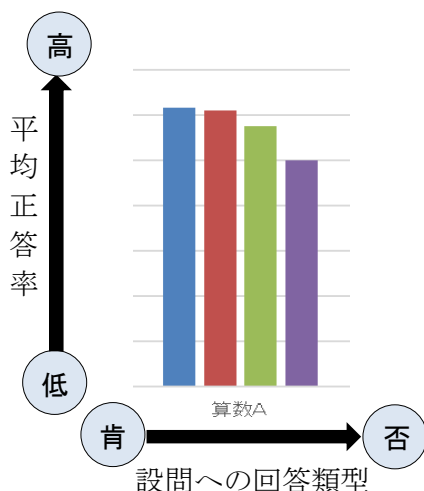


この資料は、全国学力・学習状況調査の結果（小学校6年生・中学校3年生対象）を家庭生活や地域での活動にも役立ててもらうことを目的として、町の教育委員会において、吉田町の子どもたちの学力と学習状況との結果を結び付けて集計し考察したものです。子どもの教育は、学校、家庭、地域が一体となって進めることでよりよいものとなります。

各家庭や地域において、生活習慣や学習習慣などを見直すきっかけとして、本資料をご活用ください。

<グラフの見方>

(例)



①グラフの横軸は、質問紙調査における回答類型を表しています。

当該質問に対して肯定的な回答をした児童生徒の層が一番左側の棒、棒が右に移るにしたがって、当該質問に対して否定的な回答をした児童生徒の層となります。

②グラフの縦軸（高さ）は平均正答率を表しています。棒が高いほど平均正答率が高いこととなります。

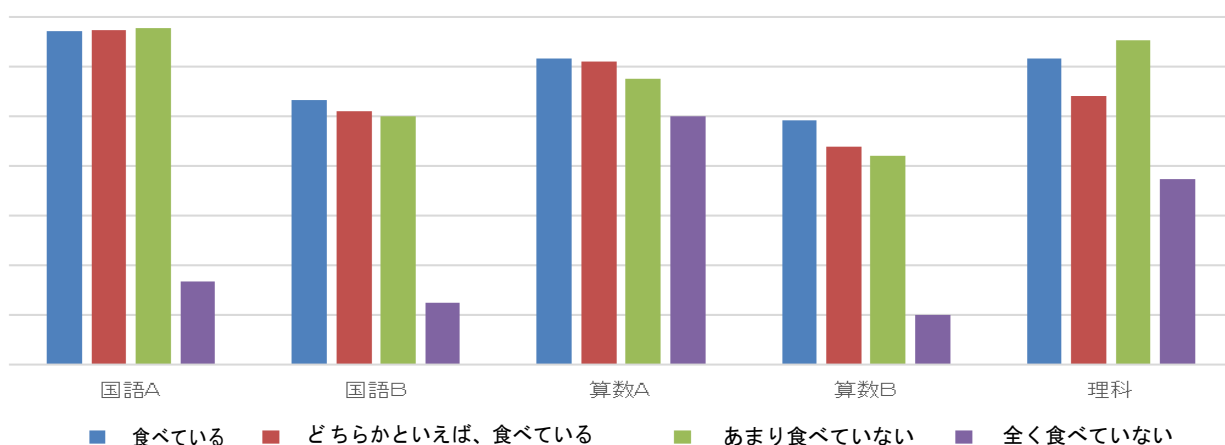
※グラフが「例」にあるような形をしていた場合、当該質問に対して肯定的な回答をした児童生徒ほど、平均正答率が高いということが表されています。

< 結 果 >

1. 「生活習慣」と平均正答率

<小学校>

○「毎日朝食を食べていますか」という質問に肯定的な回答をした児童の方が、ほとんどの科目で平均正答率が高い傾向が見られました。

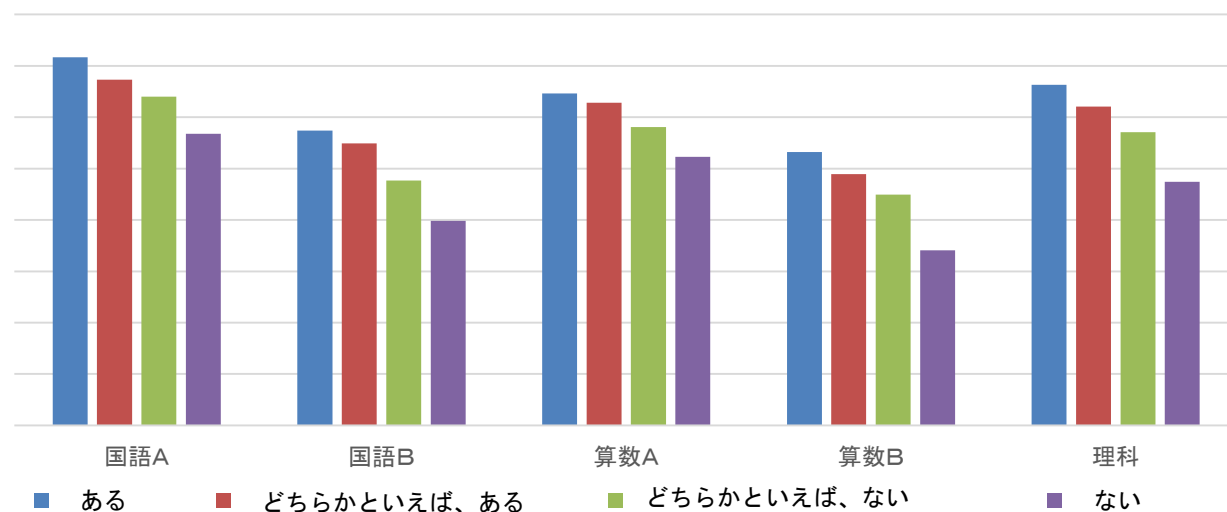


朝食をきちんと食べている児童の方が、平均正答率が高い傾向があることから、基本的な生活習慣が身に付いていることが、学力の定着を図る上で重要なことと考えます。

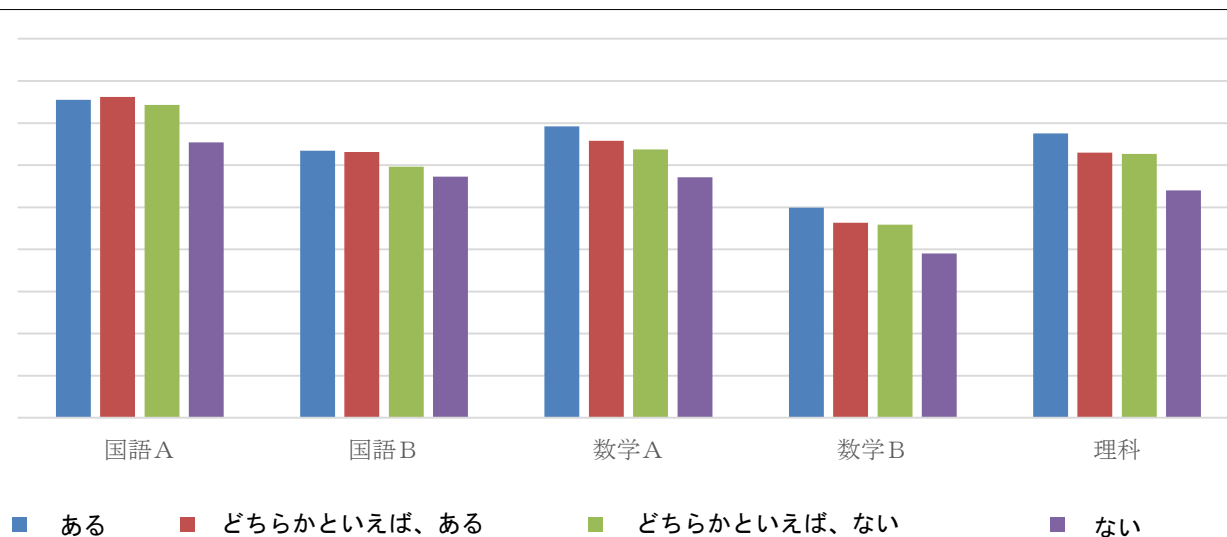
2. 「地域や社会への興味・関心」と平均正答率

<小学校>

○「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」という質問に肯定的な回答をした児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られました。



<中学校>



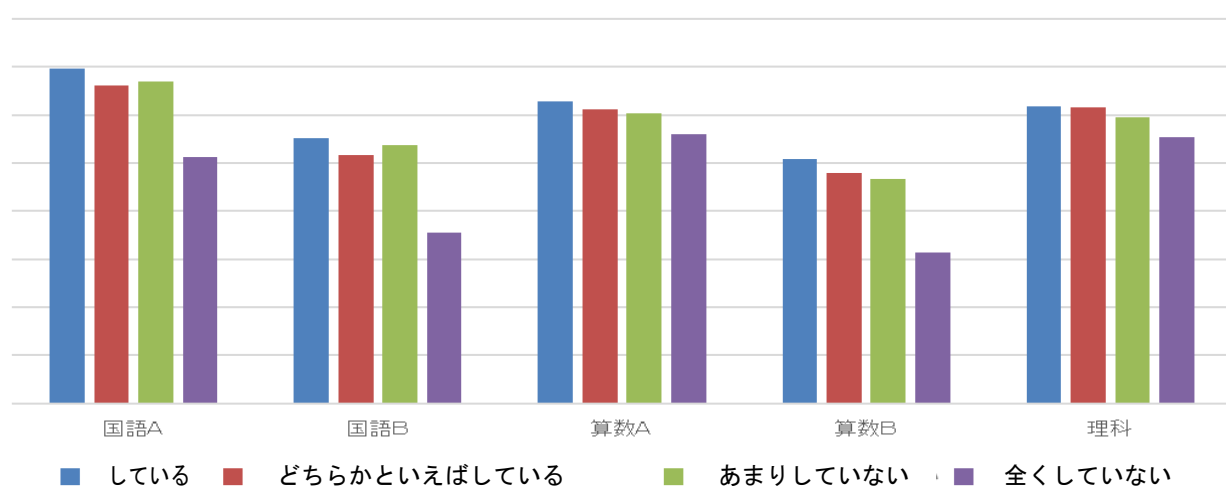
小学校・中学校共通して「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にあります。

学校や家庭では、ニュースを見たり、新聞を読んだりすることが重要なことと考えます。新聞については、町の図書館や学校の図書館にも配備しておりますので是非ご活用ください。また、町や地域の行事などに参加することも地域や社会に関心をもつきっかけとなります。

3. 「学習習慣」と平均正答率

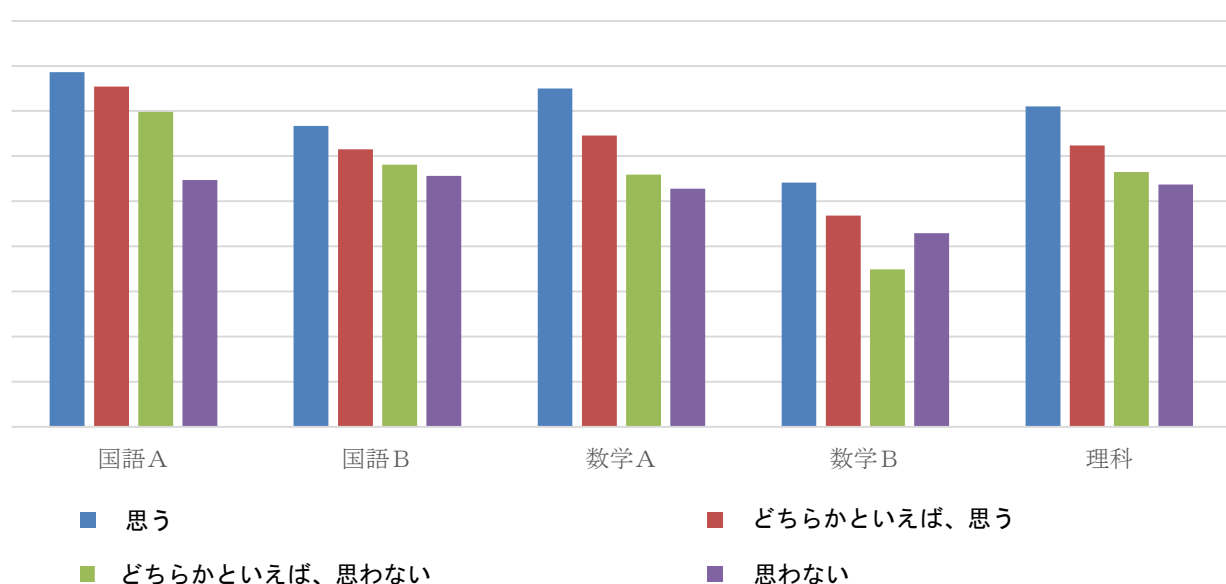
<小学校>

○「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に肯定的な回答をした児童の方が、平均正答率が高い傾向が見られました。



<中学校>

○「1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」という質問に肯定的な回答をした生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られました。



課題の解決に向けて、自分から考え、自分から取り組んでいた児童・生徒の方が、平均正答率が高い傾向にあります。

今後も、与えられた課題、追究方法だけではなく、「自ら課題を見つけ、自ら解決する」という主体的な態度を育むことが必要であり、教育委員会では、児童・生徒が自ら学習に取り組むことができるよう、学校において更なる学習展開の工夫ができるよう支援をしてまいります。